

# たかのす

昭和44年 5月14日 第3種郵便物認可(1部16円)

## 人口と世帯数

(住民基本台帳による)

|     | 10月31日現在 | (前月比)  |
|-----|----------|--------|
| 総人口 | 25,396人  | (5人減)  |
| 男   | 12,359人  | (5人減)  |
| 女   | 13,037人  | (増減なし) |
| 世帯数 | 7,052世帯  | (3世帯減) |

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



## ゆく年 くる年

新しい年—1979年は、もうそこまできています。

町民のみなさん、ことし一年、ほんとうにごくろうさんでした。町政への大きなご協力に対しても心から感謝いたします。

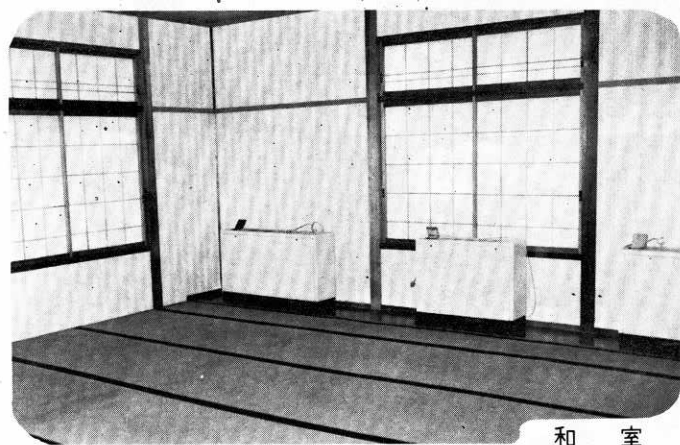
明日をより豊かにするため、ともに力いっぱい生き、最後のしめくくりをしましょう。



(1月15日号から12月1日号まで一面に掲載した写真です。明年はあなたの番です。)

お待たせ

## 湯の岱温泉完成



女子浴場

和室

12月24日オープン

待望の温泉湯治場が湯の岱に完成、十二月二十四日オープンすることになりました。

湯の岱温泉は、緩和性低張温泉で湯ざめがなくリュウマチや高血圧などによく効く、当町では初めての温泉です。町民ここの温泉として大いに利用していただきたいと思います。

完成した湯の岱温泉湯治場は、木造平屋建百八十五、四九平方尺（五十六坪）。浴槽は、男湯が四九平方尺、女湯が三・三平方尺のだ円形、洗場はそれぞれ浴槽の七

倍の面積、それに男女別の脱衣室と便所、十五畳の広間、管理室、ホールなどからなっています。

湯の岱温泉は、毎分八十五リ、温度三十八度のお湯が自噴しておりますが、この温度では低く、直接利用できないため、加温のうえ浴槽に給湯するものです。加温は、源泉水をボイラー熱交換器により四十五度まで上昇後、湯治場の浴槽と上り湯に給湯することになっています。

なお、湯の岱温泉の総事業費は三千七百九十七万六千円。内訳は、ボーリングに九百三十六万円、電気検層と仕上げ工事に九百四十五万一千円、湯治場建築費一千三十八万円、加温機械電気工事六百九十万円、整地や井戸工事に百八十八万五千円となっています。

## リュウマチや高血圧に効く

湯の岱温泉の泉質について、先に県衛生科学研究所で分析しましたが、その結果は含食塩石膏泉（緩和性低張温泉）で、湯に入ったあとに湯ざめがなく、体がポカポカするのが特徴とされています。適応性は、浴用で①リュウマチ性疾患 ②動脈硬化症 ③高血圧症 ④創傷—などに効き、飲用の場合は①慢性便秘 ②慢性肝胆疾患 ③じん麻疹 ④肥満症—などによく効くという、温泉としては最高の分析結果がでているため、今後湯の岱温泉は、湯治場として町内外から脚光を浴びることになります。

## 入浴料金・大人で百五十円の予定

湯の岱温泉が十二月二十四日にオープンすることから、町では十二月定例町議会に町営温泉設置条例案を提出、現在審議中ですが、入浴料金案では、大人（十二歳以上）百五十円、中人（六歳以上十二歳未満）八十円、小人（六歳未満）五十円。また、和室使用料は大人百円、中人八十円、小人五十円を予定しております。

なお、運営にあたっては六十歳以上の方、身体障害者、その他特に町長が必要と認めた者については、それぞれ減免するほか、入浴にあたっては、十二歳以上の混浴の禁止、風紀、入浴の拒否などについても規則で定めることになっています。



# 除雪対策に 万全の態勢



## 冬将軍到来

厳しい冬将軍がやってきました。秋田地方気象台発表のこの冬の降雪予報は、例年並みかやや多いのではないかと述べられています。このため町では、住民の生活や産業など、多面的な活動に欠くことのできない交通路を、降雪により途絶することのないよう除雪対策本部を設置、冬期間の交通確保に万全を期しています。

今冬の町内の除雪延長は二百四十一・九きにおよんでおり、これを下記の計画図により、国が国道七号線など二十五・五き、県が小森・比内線など五十八き、町が残る百五十八・四きを除雪することにしていきます。

降雪のあった日は、早朝から除雪作業に当たり、町民のみなさんの生活に支障のないよう活動されますが、除雪能率をあげるために、次のことについてみなさんのご協力を願います。

## 道路上の除雪障害物は除去を!!

除雪車だけでは百五十八・四きの除雪は困難なため、例年どおり業者から除雪機械を借り上げることとし、今年度の予算に一千九百七十万円を計上、交通確保に万全を期しています。

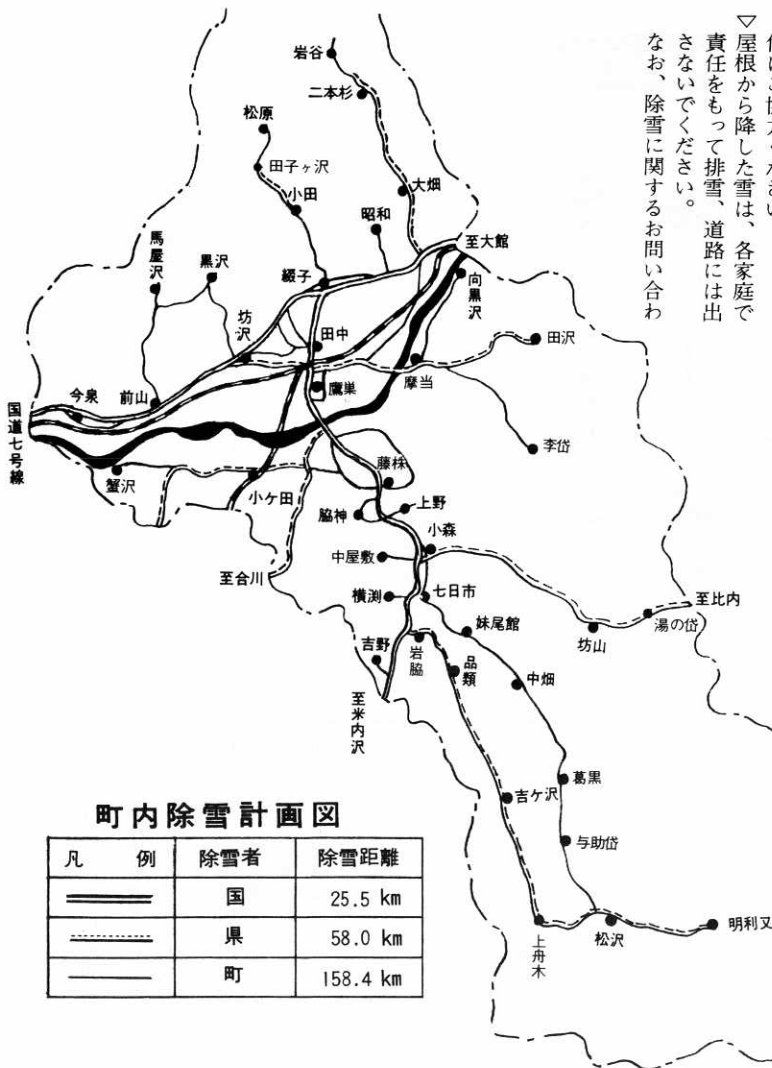
- ▽除雪中に障害物がありますと、作業の能率が低下するばかりでなく、その部分が除雪できなくなり、みんなに迷惑をかけることになりますので、除雪路や側溝上に物を置かないでください。
  - ▽車が故障などのため、すぐ路上から移動できないときは、くいを立て赤い布などで注意表示をするとともに、すみやかに除去してください。
  - ▽除雪により屋敷内に入った雪は、道路に押し出さないで、道路の端に積み上げるなどして交通確保にご協力ください。
  - ▽屋根から降した雪は、各家庭で責任をもって排雪、道路には出さないでください。
- なお、除雪に関するお問い合わせ

## 雪捨ては建設会館前の綴子川へ

雪捨て場所として、例年どおり田中、建設会館前の綴子川河川敷（鷹巣陸橋より下流柳生橋の間）を指定しておりますので、道路などに雪を押し出さないで、指定の場所へ捨ててください。

せ、連絡は役場建設課（電話二二二二）へしてください。

なお、例年、一部心ない人が雪といっしょにゴミを捨て、関係機関から注意を受けています。このようなことは絶対やめてください。



町内除雪計画図

| 凡 例       | 除雪者 | 除雪距離     |
|-----------|-----|----------|
| ———       | 国   | 25.5 km  |
| - - - - - | 県   | 58.0 km  |
| .....     | 町   | 158.4 km |



# 栄橋・車輛通行禁止を解除

＝ 新年1月1日から ＝



急ピッチで復旧工事中の栄橋

一般地方道大館～鷹巣線の米代川に架る栄橋（東小学校前）は、橋げたにき裂が入り一部沈下したため、去る六月十五日から車輛の全面通行止めを行い、橋脚の補強や架設工事を急いでおりましたが、残された工事も予定どおり十二月中旬に完成する見通しがついたことから、明年の一月一日から交通止めが解除となります。

栄橋は、延長百八十八・八メートル、幅員五メートルで、昭和二十七年に木橋から鉄筋コンクリート橋に架替えられており、対岸の摩当を始め、田沢、岩坂、下大沢、李岱の五集落（百九十二世帯、約九百人）を結ぶ重要橋。

栄橋の中央部分の橋げたにき裂

が発見されたのは五月始め、その後き裂部分に沈下がすすんだため、重量制限や夜間の全面通行止め等を行いながら、陣場岱農免道路を回るう回路の整備をすすめ、去る六月十五日から歩行者を除く車輛の全面通行止めを行い、復旧工事をすすめていたものです。

復旧工事は、橋脚補強のあと、

沈下した橋げた部分を取りはずし、新たに鋼鉄製の橋げたを据えつけ、このあと鉄骨を組み合わせ、その上にアスファルト舗装を行うものです。

## 九トン以上の荷重車は迂回路を!!

栄橋は、明年一月一日から通行禁止解除となりますが、路線バスおよび緊急自動車を除く九トン以上の大型荷重車は通行を制限され、これまでどおり陣場岱を廻るう回路を通ることになります。

## 国民年金

### 繰り上げ請求と繰り下げ請求

国民年金の老齢年金は、六十五歳から支給されますが、六十歳までに老齢年金の資格要件を満たしていれば、六十歳から六十四歳までの間なら、いつでも支給開始時期を繰り上げて、希望したときから受けられます。

しかし、その年金額は、受給を希望した年齢に応じて、六十五歳から受ける本来の老齢年金額から一定の割合で減額され、六十五歳以後もそのままの年金額が支給されるので、くれぐれもご注意ください。

たとえば、六十歳以上六十一歳

未満で支給を受けると、六十五歳で受けるべき年金額の四十二％、六十一歳以上六十二歳未満では三十五％、六十二歳以上六十三歳未満では二十八％、減額されることとなります。

これとは反対に、六十五歳以上七十歳までの間に繰り下げて受給を望んだ場合は、年齢に応じて年金額が増額されます。

たとえば、六十六歳以上六十七歳未満で支給を受けると十二％、六十七歳以上六十八歳未満では二十六％、六十八歳以上六十九歳未満では四十三％、増額されます。

## 町長 日誌

11月16日～11月30日

- 16日 内外情勢調査会＝大館市町内小中学生理科研究発表会
- 17日 町内工事現場視察
- 18日 西小健康優良校全日本特選校受賞祝賀会
- 19日 と畜場献花
- 20日 健康大学閉講式
- 21日 県出先機関所長との協議会
- 22日 町職員上級第二次試験
- 23日 PTA会員研修会
- 24日 決算特別委員会
- 27～30日 砂防関係事業費増額中央陳情、全国町村長大会、秋田県市町村東京会館竣工式、全国山村振興連盟臨時総会、全国治水砂防促進大会、全国水道促進大会＝東京都
- 16日 建設水道常任委員会
- 17日 決算特別委員会
- 20日 全国豪雪地帯町村議会全会
- 21日 全国町村議会議長会大会
- 22日 決算特別委員会
- 23日 建設水道常任委員会
- 24日 秋田県議会百年記念式典

## 議会 日誌

11月16日～11月30日



# 「衛生センターを改造」

## 公害対策も万全

### 『放流水も基準以下に』

鷹巣町はか六カ町村（二ツ井、藤里、合川、森吉、阿仁、上小阿仁）が運営する米代流域衛生センター（し尿処理場）では、去る五月から総事業費一億四千五百万円でビニールなどの余剰汚泥物を除去する前処理装置、余剰汚泥の脱水装置を主体に施設の改造工事をすすめていましたが、これが完成したため、去る十一月二十五日、

現地で竣工式を行いました。  
米代流域衛生センターは、小ヶ田地区内に昭和四十二年三月に一日の処理量五十トンの人口五万人を対象に完成。その後、四十六年六月には一日八十トンの八万人に増設しております。

今回の施設改造工事が完成したことにより、きょう雑物の除去、汚泥の分離などにより不遊物質、

BODとも放流水が基準数値以下に抑えられるほか、焼却炉から悪臭が外に流れないなど、公害対策も万全となりました。



# 歳時記

## 師 走



「十二月のこと  
をなぜ師走というのか？」  
という質問に、ほとんどの人が「先生まで走り出すほど忙しい月だから」と答えます。  
しかし、どうもこの説、あまりあてにならないらしい。昔の俳諧の本あたりに、たしかに「師家の馳せ回る月」と書いたものもありますが、それより「年果つ」とか「し果つ」すなわち、ことが終るという意味とする説の方が強いようです。

もともと師走は、先生が走り回らなくても「ピポー、ピポー」と走る回るあの救急車やパトカーの音は、ふだんよりあわただしげです。師走は交通事故、酔っ払いなどが增えるので、一一〇番は大忙し。  
師走という言葉は、昔は、落ちぶれ果てるという意味に使われていたらしい。それが、今日、私

ちが師走という言葉から連想するのは、ジングルベルのにぎやかな響き、クリスマスツリーなどで飾り立てられた商店街の歳末風景や、ポーナスを手にしてショッピングに出歩く人びとの姿。  
それと、昔は師走といえば借金取りの話がつきものでしたが、今年の師走は、サラ金に泣く人がでなければいいと気がかりな年の暮れです。



# 書きぞめ大会のご案内

新年の書きぞめ大会を次により開催いたしますので、お気軽に参加ください。

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 日 時  | 一月六日 午後十二時半から                |
| 会 場  | 鷹巣公民館ホール                     |
| 課 題  | 自由（大きさも）                     |
| 出 品  | 一人一点                         |
| 審査部門 | 幼児、小学校、中学校、高校、一般の五部門         |
| 入選発表 | 当日会場で表彰                      |
| 用 具  | 用具、紙、手本など一切各自で持参してください。      |
| 作品返却 | 作品はお返ししないことを原則とします           |
| 作品展示 | 入選作の一部を一月八日から十五日まで、公民館に展示します |
| 参加申込 | 一月四日まで公民館に申し込みください           |

# 読書感想文コンクール

第十四回鷹巣町読書感想文コンクールを次により行いますので、多数の応募をお待ちします。

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 応募資格 | 小学校、中学校、高校、一般の四部門        |
| 課題図書 | 特に定めませんが、教科書、雑誌は対象としません。 |
| 入選発表 | 五十四年一月中旬                 |
| 表彰   | 最優秀賞、優秀賞、努力賞（各部門とも若干名）   |
| 応募先  | 鷹巣公民館                    |

# 出かせぎ者激励集会のご案内

町では、出かせぎ者の正月帰郷者を対象に、次により激励集会を開催しますので、ぜひ出席くださるようご案内いたします。

|     |                             |
|-----|-----------------------------|
| 日 時 | 一月四日午後一時から                  |
| 場 所 | 鷹巣公民館ホール                    |
| その他 | なお不明な点は、役場商工観光課へお問い合わせください。 |

# 「広報紙のなかから」

## 一年をふりかえる

きと答申

二 月 (如 月)

寒さも日ごとに厳しさを増し、こしも残すところ十数日となりました。一年の計が元旦にありとするなら、一年の決算は年末にあるわけで、残る日数をキツチリと締めくくって悔いなき一年を送ろうではありませんか。

そこで、広報紙のなかから、こし一年の主な出来事を抜粋、振り返ってみることにしました。



町民スキー大会

一 月 (睦 月)

4日 出かせぎ帰郷者約百三十名が参加して、「出かせぎ者激励集会」開かれる

出初式「佐藤堅一郎(坊沢)、斎藤勇(綴子)の両氏に有効章

7日 二百八十名が参加して新年書きぞめ大会

20日 三歳児「むし歯のない元気な子」十八人を表彰

▽第四回広報写真コンテスト、高橋、藤島(豊)、藤島(浩)三氏が入選

▽町文化財審議委員会が樹木五件、石碑、石仏二件、史跡四件、計十一件を町の文化財に指定すべ

1日 町民税の申告始まる

15日 町民税の申告始まる

5日 第十六回町民スキー大会

吹雪のなかで熱戦、リレーで綴子(青年)が三連勝

14日 青年の声を町政に

20日 臨時町議会

24日 25日 大館・北秋田生活工夫展開かれる

26日 第四回全町子ども会たこあげ大会

▽二月十五日から町長への手紙強調月間

▽県農近ゼミ発表会で与助岱、佐藤利子さんが最優秀賞を獲得

三 月 (弥 月)

1日 町協力委員会全体会議、永年勤続者六人に感謝状

5日 第十三回読書感想文コンクール表彰式

8日 18日 三月定例町議会

年度一般会計予算三十億三千五百万円余で、前年度比七・六%の増。国保会計は八億四十万円余で、国保加入世帯は五十一・八%。

▽一日「台風並みの風雪が終日吹き荒れ、当町では学校や倉庫の屋根が吹き飛び、ガラス窓も壊れるなどの被害を受ける

▽綴子分団に六百九万円の新鋭のジープ型消防車を配置

▽三月定例町議会

付基金条例が制定され、四月診療分から適用

4 月 (卯 月)

6日 北幼稚園オープン、喜びの入園式行われる

6日 12日 春の全国交通安全運動

9日 母子の交通安全大会

14日 副知事市町村訪問

22日 第十六回河田杯マラソン大会、山口武造君(鷹中)が新記録

23日 30日 榊沢川、小森川でクリンアップ作戦展開

▽春の生存者叙勲で二階堂善三、

九島悦郎の両氏が教育功労で勲四等瑞宝章を受賞

中央公園さくらまつり

29日から五月五日まで

▽建築基準法の改正により、日影規制が一日から適用

五 月 (皐 月)

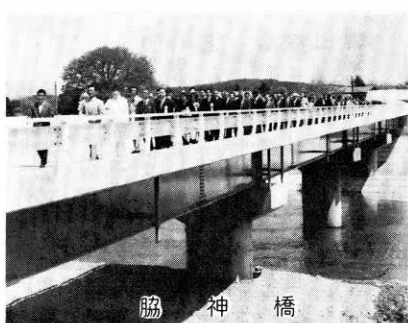
13日 脇神橋竣工式

18日 第十四回町内小学校交歓陸上大会

20日 鷹巣阿仁広域消防本部消防署庁舎が完成、総事業費(主体工事、設備工事、土地購入および造成など)は一億三千万円余に

▽県道大館

橋げたにひび割れが生じ、五月十五日から六月十五日まで夜間の全面車輦通行止め、六月十六日から十二月三十一日までは車輦の通行止めを行い、復旧工事車は、陣場岱農免道路を回る回路を通る



脇神橋

六 月 (水無月)



七日市幹集落センター

19日 28日 六月定例町議会

一般会計三十二億九千万円余に、住居表示に関する条例を制定

25日 町内小学校バレーボール大会

男子は西小、女子は中央小が優勝

29日 地域コミュニティづくりの核にと、七日市基幹集落センター完成、総事業費九千二百三十八万円

▽駅前商店街に六十台収容の大型駐車場が七日オープン

▽鷹巣ライオンズクラブで、役場前に町民憲章碑を建立

七 月 (文 月)

1日 屋内プール「加温式」に切り替え、水温は常時二十七度に

14日 農業委員会委員選挙

25日 28日 日独交歓スポーツユ

ーゲント一行十三名来町。スボ  
ーツ、民泊、十和田湖見学、祭  
典などを通じて交流を行い、両  
国の親善を深めて離町



30日 八郎潟町交歓テニス大会  
7月16日～8月31日 町営墓地公  
園第一次永代使用分譲開始  
▽中央公園「いこいの森」造成、  
キャンプ場など完成  
▽青空市場が七月二十二日、開設  
三周年記念セール  
▽五十三、五十四の両年度、県の  
指定を受け「老人福祉の町づく  
り」スタート

八 月 (葉 月)

6日 全日本大学選抜相撲秋田大  
会  
10日 臨時町議会「旧消防署庁舎  
の改築工事と湯の岱温泉湯治場  
新築費を議決  
15日 成人式  
16日 歩行者天国  
18日 全町子ども会相撲大会「舟  
場チームが3連勝を飾る



15日 鷹巣中学校で創立二十周年  
記念式典、約千五百人が出席  
18日～28日 九月定例町議会「一  
般会計三十五億六千万円台に、

九 月 (長 月)

23日 峰越連絡林道奥見内線促進  
協議会設立、来年度採択めざし  
運動を展開(比内一七日市線)  
27日 第16回町民体育祭  
29日 長谷川真一郎さん環境緑化  
の功績で県から善行者表彰を受  
ける  
▽三日「鷹巣気象通報所が開設(昭  
和三十二年)」されて以来観測  
史上最高の三十九・二度を記録  
▽全国ちびっこ相撲大会で中央小  
の畠山清暢君が優勝 当町から  
二年連続横綱誕生  
▽鷹中男子バレー部、東北大会で  
初優勝

墓地公園に関する条例制定、前  
野団地に集会所新築費を計上  
23日 五城目町交換スポーツ大会  
▽鷹巣高等学校吹奏部が東北大会  
で優勝  
▽敬老会「当町の七十才以上の敬  
老者は、男六百八十三人、女九  
百三十二人、計千六百十五人」  
▽米李岱、畠山俊三さん所有の「  
ふじ子号」が、県家畜共進会で  
優等賞  
▽全県学校給食コンクールで、北  
部給食の河田、佐藤組が優勝  
▽廃品回収業者の協力を得て資源  
回収を始める



十 月 (神無月)

2日 芸術文化協会十周年記念座  
談会  
10日 第十四回町民駅伝大会、第  
一回親子バレーボール大会  
15日 全日本九人制バレーボール



秋田県予選会鷹巣大会

30日 町の養豚生産組合で初の子  
豚品評会開く

31日 墓地公園開眼式

▽待望の特急「白鳥」が停車、喜  
びのテープカット  
▽長崎佐太吉公民館長退任に伴い、  
新館長に長崎久氏就任

▽連合青年会が会費制結婚披露宴  
を模擬で実演  
▽町体育協会が、社会体育優良団  
体として文部大臣表彰を受ける

▽県子ども会結成三十周年式典に  
おいて、太田子ども会、舟場子  
ども会が優良賞。個人では畠山  
セツさんが子ども会育成功労賞  
をそれぞれ受賞  
▽鷹巣地区の勤労者互助会設立

十一月 (霜 月)

3日～5日 第十回町文化祭  
5日 第一回郷土芸能まつり

十二月 (師 走)

1日～10日 年末交通安全運動  
11日～20日 十二月定例町議会  
▽湯の岱温泉に湯治場完成  
▽役場第二庁舎完成  
▽伊勢町児童館完成



## おしらせ

## 県勢要覧予約受付

昭和五十四年版秋田県勢要覧の予約を、二十日まで受付中です。価格は千五百円。限定出版ですので、ご希望の方は役場企画係へお早めにお申し込みください。

## 鷹巣高等職業訓練校で生徒募集

鷹巣高等職業訓練校では、昭和五十四年度訓練生を次の要領で募集しています。

募集科目は、▽高卒コース＝建設機械整備技術科(二十名)、電気設備技術科(二十名) ▽中卒コース＝建設機械整備科(十名)、電気工事科(十五名)、建築科(十名)

二十名)となっており、訓練期間はいずれも一年。

受付期間は、▽高卒コース＝昭和五十四年一月十日～三十一日  
▽中卒コース＝昭和五十四年一月二十一日～二月七日

選考は、高卒コース＝二月六日(火) ▽中卒コース＝二月九日(金)、鷹巣高等職業訓練校で行います。

訓練期間中の諸経費については技能育英資金制度などもありますので、くわしくは同校へお問い合わせください。

## 自衛隊生徒募集

防衛庁では、来春卒業の中学生を対象に、自衛隊生徒を募集しております。

教育期間は四カ年で、卒業と同時に三等陸(海・空)曹に任命されます。

れ、高等学校の卒業資格が取得できます。また、教育期間中は学食費等は無料で初任給七万五千七百円が支給されます。

願書の受付は、十二月末日まで、第一次試験は一月月上旬です。くわしいお問い合わせは、自衛隊地方連絡部大館出張所(電話・大館四一―一三九八)へ。

## 産業別最低賃金が改正

県内の産業別最低賃金が、十二月二十五日に次のとおり改正されますので、お知らせします。(一)

内は、雇入れ後六カ月未満の者。  
▽食料品製造業＝一日二千五百七十円、時間給三百三十四円(二日二千三百二十三円、時間給二百九十一円)。  
▽繊維産業＝一日二千四百円、時

間給三百円(二日二千二百五十八円、時間給二百八十三円)。  
▽木材・木製品・家具・装備品製造業＝一日二千六百十七円、時間給三百二十八円(二日二千三百七十四円、時間給二百九十七円)。

▽出版・印刷・同関連産業＝一日二千五百十五円、時間給三百十五円(二日二千二百九十九円、時間給二百八十八円)。  
▽機械・金属製品等製造業および自動車整備業＝一日二千六百四十二円、時間給三百三十一円(二日二千三百六十四円、時間給二百九十六円)。

▽卸売業・小売業＝卸売業一日二千六百三十八円、時間給三百三十円。小売業一日二千四百六十六円、時間給三百九円。

すべての事業主は、これを用いる賃金で労働者を使用してはならないこととなります。

## ＝昭和54年度＝

保育園児入所  
申請受け付け

昭和54年4月より入所を希望する保育園児の受け付けを次により行っています。

記

## ①申し込み期間

12月1日より12月26日まで

## ②申し込み先

申請用紙を役場町民課福祉係が各保育園から交付をうけて、福祉係に提出してください。

## ③入園通知

2月下旬まで保護者に可否を通知します。

## ④各保育園と定員

鷹巣保育園＝90名

うち三歳未満児 30名

南鷹巣保育園＝150名

うち三歳未満児 45名

七日市保育園＝60名

うち三歳未満児 12名

綴子保育園＝60名

うち三歳児未満 12名

中央保育園＝90名

うち三歳未満児 20名

東保育園＝60名

うち三歳未満児 12名

西保育園＝50名

四歳以上児に限る

竜森保育園＝30名

四歳以上児に限る

※なお、現在入園中の方、保留される方もあらたに申請してください。

## ＝北幼稚園園児募集＝

北幼稚園では、54年4月入園の園児を募集中です。

受付は、定員になり次第締め切らせていただきます。入園ご希望の方は、鷹巣町教育委員会か北幼稚園へお問い合わせください。

募集範囲は、綴子地区一円。

(募集人員) 満4歳児 40名

満5歳児 24名

## 防犯で楽しく過す年末年始

①盗難の予防

②みんなの力で暴力追放

③少年の非行防止

④酒のみ運転の防止

事件事故はすぐ110番へ

## カメラ・ルポ

## カメラ・ルポ

## カメラ・ルポ

## 町行政を膚で勉強

『寺田服装専門学校で』

寺田服装専門学校専門科程（高卒）の生徒三十名が、十一月二十二日役場を訪れ、町行政について勉強しました。

当日は、畠山助役から町行政の概要について説明を受けたあと、六班に分れ、各課で、各種届け出の実習や仕事の内容について、二時間みっちり勉強しました。同校では、教養課目の一つとして町行政を勉強しているもので、十一月十六日には町内の施設めぐりも行っています。



『太田子ども会で受賞を祝い』

## 餅つき大会を開く

今年度の優良子ども会として知事表彰を受けた太田子ども会（会員六十六人）では、これを記念して十二月四日午前十時から餅つき大会を開き、受賞を喜びました。

同子ども会の餅つき大会は、例年正月行事として行っていますが、受賞を記念して一足早く開いたもの。当日は、親たちがみまもる中で、子どもたちが威勢よくキネを打つとまたたくまに餅ができていきなり、お昼には腹いっぱいのおしるこお雑煮を食べ、楽しいひとときを過ごしていました。

## 交通安全パレードで

『事故防止を呼びかける』

新しい道交法と年末の交通安全運動がスタートした十二月一日、交通指導車を先頭に町内をパレード、新しい道交法の徹底と事故防止を呼びかけました。

パレードに参加したのは、町の交通指導隊、交通安全協会、交通安全母の会などから関係者約五十人。交通指導車からは、飲酒運転の追放、自転車乗りのルール順守、安全歩行と安全運転の促進などを重点に町民に訴えました。



# 生きがいを求めて

## たのしい組織活動

### 『綴子老人クラブ』

今年では老人福祉法制定十五周年になる。そして鷹巣町は県から「老人福祉の町」の指定を受けた。  
(鷹巣町の老人クラブは四十団体およそ三千八百人)  
その中で、最も早くから組織活動をしてきたのが綴子老人クラブである。

#### 老人福祉法制定前に発足

綴子老人クラブの創立は昭和三十年、まだ老人福祉法も老人年金制度もなかった時のことで秋田県では最も早い発足である。先駆者当時の綴子公民館長秩父威仙氏の肝煎りによるもので、発足当時の会員数は百二十八名であった。

お互いに孤独になりがちな老人が相つどい、語り合ったり、奉仕作業をしたりして、生きがいを求めての活動を続けてきた。綴子小学校グラウンドに植えた桜の木や、公民館前の木は、見事に育って年輪を重ねている。その成果が認められ、昭和四十四年には秋田県知事の表彰をうけた。

#### 公民館を中心に

その後、年を経るにしたがって会員も増加し、現在は二百八十名に達している。会長に高橋岩吉、



事務局長宮野武司を立て、公民館を中心に事業計画を練り、着実な歩みをつけている。

「役にたつ老人」「好かれる老人」「話せる老人」になることをめざして、奉仕部・教養部・厚生部・保健部と、それぞれ部長を置き役割分担をしている。更に地域が広く、会員数も多いので、五班に分け班長を置いて連絡をとっている。

#### 見聞を広める旅行

「見聞を広め若者におくれをとらないように」と、一泊二日の旅行を毎年一回実施している。昨年は小牧に、今年は宮古であったが

百三十名が参加した。車中や旅館での交流は、いつの間にか若かりし頃の語りにぎわっていた。

#### 明治青年の意気あがる運動会

綴子地区は元来スポーツの盛んな所であるが、その土台をつくった今の老人たち五つの班が、勢揃いして堂々と活歩する入場行進には明治青年の意気が満ちていた。パン食い競走など、いろいろな珍ゲームが爆笑の中に展開される。参加賞から、賞品一切を綴子農協が出してくれている。

#### 講話と親睦のタンボ会

秋のタンボ会は楽しい行事である。だがまず、お招きした講師の有益なお話を聞いてから一杯ということにしている。初めの中は神妙にお話を聞いているが、やがて酒が入ると歌ったり踊ったりで、公民館のホールは大変なにぎやかさになる。

#### 奉仕活動で生きがいを

奉仕作業は年数回、神社やお寺の境内の掃除をして喜ばれている。今年は青山荘の庭作りで協力し、いろいろな木を持ち寄って植えてやった。花だんもつくってやった。特に、気の毒な境遇の施設の老人たちと交流し、役立つ仕事をして来たことに意義を感じて帰った。

#### 健康管理を第一に

だが、人にとって何よりも大事なのは自らの健康管理、保健部はことある度ごとに保健婦を呼んで血圧測定をしてもらっている。

## 部落訪問



### ＝ 駅 前 ＝

十一月二十六日の晩、二幸食堂の二階で、駅前婦人学級のたんば会があった。

ある食堂の奥さんが、「初めてくるよそのお客さんから、ここは市ですか町ですか。とよく聞かれます。だから町のことにしては何でも答えられるように人口から、面積から、特産物のことなどよく知っていないといけません」と語っていた。町の玄関口の印象を気持のよいものとするために、福住町、材木町も含めた婦人たちが、学習をつづけて六年になる。

鷹巣に駅ができたのは今から七十八年前の明治三十三年のことである。奥羽線北線の工事は青森から始まってようやく鷹巣まで貫通したのがこの年であった。その頃の駅の周辺一帯は松林であった。

十月八日の「停車場開き」には舞台がかけられ、まだ見たことのない汽車を見物しようとたくさんの人々が集まった。その時の様子を和田喜代治さん(八十五才)は、「その頃は私は七才であった。まっ黒いものが煙をはいて、ものすごい勢で糠沢の

方からやってきた。それが汽車というものだった」と語っていた。鷹巣に駅が誘致されたのは時の衆議院議員成田直衛氏の力によるものと鷹巣郷土誌に書いている。

駅前に生れ育った佐藤キエさん(八十才)を訪ね、昔の話を聞いた。勝永旅館、田島旅館、八木旅館、丸二運送、丸本運送があった。木村商店もあった。汽車が着くと、米内沢ゆきの客馬車が鈴を鳴らして走った。人力車も威勢よく走った。時間に間に合わせるため、停車場通り(福住町)をとらないで、近道を歩く人が多く、木材さんの裏畑にはいつのまにか道路ができてしまった。

昭和二十五年の大火の後の都市計画で米代町ができ、今のようにな立派な玄関口ができたのである。

(公民館長 長崎 久)





# みんなの広場



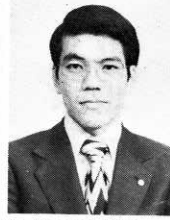
こまゆみ

山野に普通の落葉低木。  
にしきぎの仲間で紅葉と  
実が美しい。

(南小・阿部達雄先生)

新しいふるさとから

末広町 出口 誠 (28)



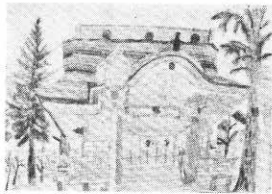
三年前  
当時比内  
町に住ん  
でいた私  
は、新聞  
の「森吉  
登山募集」

にひとり参加し、楽しい一日を過ごしたことがあった。その時の記念写真が、連絡がとれぬままそれっきりだったが、去年の春、鷹巣町に転動になった際に尋ねたところ、大切に保管されていてやっと私の手元へ。一緒に登った仲間達の懐かしい顔に会えたのは、ほんとに嬉しいことだった。これがかきつけて山岳会に入会

## よい子の作品



5年 島山 貴



5年 和田 透

し、誘われるままアチコチ歩きまわった。最初の頃は、体力的にも自信もなく、もしバテたらと心配だったが、山頂で飲むビールのうまさに惹かれ、「また登ろう」という気になったものである。経験や体力的な個人差はあれ、皆、山に関しては好きな連中の集まりだ。昨年、会の合宿所が田子ヶ沢にでき、みんなの力でりっぱな山小屋となった。ランブのあかりを丸く囲み、山の静かな澄んだ空気の中、出会った仲間と語り合い、笑い、飲んで歌う時、町にこんな会があつてほんとに良かった、と思えてくる。

うだと言いがら、いざ描くとなると、なかなか思うようにはいかぬもの。他人の作品の偉大さに感心している。この秋文化祭にも出品させてもらい、鑑賞される側になったとき不思議な感激を覚えたことだった。

「山岳」と「絵画」—このふたつで、鷹巣の町民として一歩深く溶け込んだ喜びがある。もし、参加してみようと思えばなかったら、地元の人達とも溶け込むこともなく、よそから来てまた他へとかけ足で通り過ぎる「こしかけ町民」で終わつたかもしれない。余暇を作り趣味で集い、新しい友を得たとき、鷹巣もまた私の「新しいふるさと」としていつまでも心に残ってゆくだろう。この町から何かを学び取り、私もまた微力ながら、町民のひとりとして役立ちたいと思っている。

## 鷹巣小学校

# 太陽

五年 本多純子

## ぼくのおかあさん



中央小学校2年 佐藤 正

ぼくのおかあさんは、おばらのうさんではたらいっています。おかあさんがかえるころになるとぼくはじてんしゃでむかえにいきます。すると、「さむいから、もつときてきなさい」と、はなしてくれます。

ぼくは、おかあさんのつくってくれるホットドックと、おかあさ

# わがサークル

＝七日市書道会＝

娘さんから七十六才の元気なおじいさんまで、嬉々として研さんしております。なお、鷹巣公民館で毛筆講座が開講されておりますがこれこそ「書く」「見る」「聞く」の三拍子が一気に解決できる、よい場所です。会員の目標は個人ごとに千差万別ですが、何よりも、楽しく、趣味を伸ばすこと、が大事だと思ひます。急がず、じっくりと、一つ一つ輪を広げて行くよう、つとめております。

上達には、素質が三分、環境が三分、残りの四分は努力であることも話しながら、……また色々な流派があるが、一方だけにかたよらず、目を向け、研究するよう気をつけております。

(紹介者 長岐瑞彦)



んのやさしいところが大きいです。

書を愛好する者同志の集まりが発端で、昭和四十二年四月に、鷹巣南中学校で呱呱の声をあげました。当初は、生徒対象のクラブが主でしたが、徐々に先生方も入会し、美しく、正しい文字の習字を目標にして、お互い切磋琢磨したものです。お蔭で、二年たらずで、有段者も数人となり、それぞれ地域活動で後輩の指導にあたり年一度は必ず、作品を持ち寄り、或いは、その場で揮毫し、それを糧として総反省会をしたものでした。以後、入会者もふえ、現在では六十名会員です。

職種は様々ですが二十代の若い



お知らせ



一級美術家 九島繁二氏

年末・年始  
役場の仕事

年末、年始の役場関係の事務は、十二月二十九日から明年の一月三日まで休みます。

ただし、一部は次のとおり仕事をしますが、なるべく二十八日前に用事をすませるようご協力をお願いいたします。

▽町民課戸籍係

二十九日の午後三時まで。印鑑証明等必要な方は、できるだけ早めに取りようにしてください。

▽収入役室

二十九日の午後二時まで支払いを行います。

▽税務課徴収係

三十日の正午まで税の収納を行います。

います。  
▽衛生センター

三十一日の正午まで操業します。センター運転中は、し尿の汲み取りも平常通り行います。年末近くになると、汲み取り申し込みに応じきれない状態ですので、早めに申し込むようにしてください。  
年始は、一月六日より操業します。

年末ゴミ収集

ゴミ収集は、二十八日まで日程表どおり実施します。

ただし、二十九日収集の小森、中屋敷、根本屋敷、七日市、横瀬、岩脇、品類、妹尾館、中畑、大畑葛黒地区は二十八日にゴミ収集を行います。年末になるとゴミの量が多くなりますので、各家庭では計画的に整理し、休み期間中は集積所へ絶対にゴミを出さないよう、ご協力を特にお願いたします。  
年始は、一月四日より収集いたします。

なお、町では第三日曜日、月曜日、火曜日に資源回収を実施しておりますが、今年最後の回収日です。家庭内をもう一度見直し、資源回収にご協力をお願いします。(油ビン、化粧ビン、ウイスキービンは回収しません。)

十二月の健康相談

成人健康相談は、二十七日です。時間は、午前九時から午後三時

まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

◇ 妊婦健康相談は、十八日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母子学級は、沐浴指導と分娩産後の注意について。時間は、午前十時から十一時まで。

◇ 一歳六ヵ月児健康診査は、二十一日

一日五十二歳四月生まれと五月生まれとなっています。

受付時間は、午後零時半から一時半まで。

※場所は、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

停電のお知らせ

十二月二十一日の午前九時から午後一時まで、次の地区が作業のため停電となります。

中学校付近から自動車学校、クローン北日本商事、武田材木付近全域。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽七日市 長岐九平さんから亡姉

ワキさんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽小ヶ田 近藤喜代松さんから亡母ヨシさんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽西横町 藤田ミエさんから亡夫和一郎さんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽新田中 戸沢ミヨさんから亡夫進さんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽前山 熊谷誠悦さんから亡父菊治さんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽今泉 成田正さんから亡父正吉さんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽東横町 成田元さんから亡父克美さんの香典返し

五〇、〇〇〇円



11月16日～11月30日

誕生おめでとうございます

佐藤 雄哉 (雄一 長男) 桜木町

高橋 彩子 (義仁 長女) 綴子上町

小笠原由香 (忠夫 長女) 前山

神成なりみ (由正 長女) 太平町

河田 彰彦 (園彦 三男) 東旭町

橋本いくみ (正幸 長女) 三ノ渡

佐藤 圭一 (茂 長男) 学校通り

齊藤 康子 (彦志 長女) 太田

戸田 泰文 (正雄 長男) 脇神

佐藤 久範 (久夫 長男) 西住吉町

齊藤 政幸 (政夫 長男) 田子ヶ沢

三浦雄太郎 (幸雄 長男) 掛泥

二人の前途を祝福いたします

本城谷 春雄

富樫 明美

佐藤 忠裕

今川 多美

佐藤 利克

小塚 敏子

亀山 加代子

米谷 常美

武内 美保子

松浦 政通

佐藤 恵子

三浦 武美

三浦 真理子

柴森 茂美

鈴木 キサ子

三浦 堅司

田村 悠子

佐藤 実子

鈴木 君信

藤島 悦子

金沢 清美

津谷 加代子

佐藤 芳美

藤島 恵子

前野

大館市

旭町

糠沢

二ツ井町

南鷹巣

沢口舟場

田沢

東京都

綴子上町

森吉町

南鷹巣

大堤

合川町

森吉町

上舟木

新松葉町

岩坂

深山

山本町

舟見町

掛泥

合川町

大町

前野

新旭町

新田中

今泉

下町

相善町

舟場

おくりやみ申しあげます

戸沢 進 (45歳)

成田 正吉 (65歳)

武内 光郎 (46歳)

成田 三郎 (52歳)

畠山 隆男 (43歳)